

地域農業支援

1 技術移転・技術支援

(1) 農業総合センター技術移転セミナー

地域農業支援のため地域ごとにセミナーを開催し、普及に移しうる成果、参考となる成果、営農再開支援技術情報等の農業総合センターの試験研究成果の現地への技術移転を図るとともに、意見交換の場とする。

回	月 日	場所	テーマ等	内 容、講 師	出席者数
1	平成28年 7月28日	浪江町、 楯葉町、 川俣町	小ギク実証ほ現地 検討会	小ギク実証ほ(浪江町、楯葉町)の電照による開花 時期調節技術を確認するとともに川俣町の小ギク による営農再開事例を視察し、栽培、経営、販 売などについて意見交換を行った。 浜地域農業再生研究センター 鈴木洋平、根本知明、江川孝二、佐藤睦人	37名
2	10月13日 ~14日	南相馬市 (農業総合センター) (現地ほ場)	平成28年度 営農再開・拡大に向 けた浜通り地方ト ルコギキョウセミ ナー	再生研が行ってきたトルコギキョウ実証研究の 成果を紹介するとともに、外部講師による講演及 び現地ほ場での栽培講習を実施した。 浜地域農業再生研究センター 鈴木洋平、根本知明、江川孝二、佐藤睦人	90名
3	11月10日	川内村 (実証ほ)	タマネギ実証ほに 係る機械作業実演 会	タマネギ栽培の省力化のため、超碎土畝成形機に よる畝づくりと全自動移植機による定植作業の 実演を行った。 浜地域農業再生研究センター 根本知明、松木伸浩、江川孝二、佐藤睦人	60名
4	平成29年 3月17日	福島市 (農業総合センター) (果樹研究所)	リンゴ等の枝幹害 虫「ヒメボクトウ」 の防除対策	リンゴ等の重要な害虫であるヒメボクトウの防 除法として、昆虫病原性線虫剤や、性フェロモン 剤、殺虫剤を組み合わせた総合防除対策等につい て紹介した。 果樹研究所病害虫科 川口悦史、吉田昂樹	25名
5	3月24日	郡山市 (農業総合センター)	施設園芸(トマト、 イチゴ)の新技術	福島県の重要な園芸品目であるトマト、イチゴに ついて、当所が開発に関わった新たな技術を用い た栽培方法について紹介した。 作物園芸部野菜科 小林智之、笠井友美	40名

(2) 技術支援(鳥獣害防止対策)

内 容	支援地方、実施月日	担当者
県段階活動支援 (県段階連携活動、各種研修支援等)	県全域 12回	企画技術科 主任研究員 木幡栄子
	H28 4/7, 28, 5/13, 7/7, 25, 8/30, 9/12, 10/7	
	H29 11/7, 21 2/2, 7	
地方会議活動支援 (地方会議、モデル集落・ 重点支援集落活動等)	全 9回	企画技術科 主任研究員 木幡栄子
	県北 6/17, 8/31 (安達)	
	県中 6/30, 7/11, 8/31 (須賀川)、2/27	
	県南 6/23	
	会津 9/6	
相双 9/16		

(3) 有機農業技術実証の取組

応用的技術の実証・確立や、各地方の実態を踏まえた有機農業の推進活動を展開するため、県内3か所に有機農業実証ほを設置した。

No	作物	実証地区	担 当	実証内容	結 果
1	小麦	磐梯町	会津農林事務所 農業振興普及部	小麦の有機栽培	有機そば製麺のつなぎ原料として生産した有機小麦は、収量は172kg/10a、製粉・製麺上の問題はなかった。
2	水稻	相馬市	相双農林事務所 双葉農業普及所	乗用型水田除草機 (けん引式)による 雑草防除	・従来のチェーン除草機及び田車体系と同等の除草効果が得られた。 ・除草作業を省力化できることから、水稻有機栽培の規模拡大に有効な技術と考えられる。

No	作物	実証地区	担当	実証内容	結果
3	シュンギク	二本松市	有機農業推進室	冬季施設野菜のハクサイダニ防除	<ul style="list-style-type: none"> ・有機 JAS 適合資材によるハクサイダニの防除効果が確認できた。 ・12月上旬の発生初期に防除することで、その後の増殖を抑える事ができると考えられた。

(4) 営農再開に向けた作付実証の取組

東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難指示を受けた区域の営農再開・農業再生を進めるため、平成 25 年 4 月より農業総合センター福島市駐在を設置し、避難地域等の市町村及び農業者等の協力のもとに、現地ほ場にて既存研究成果等を活用した実証栽培を行ってきた。

平成 28 年度からは、南相馬市に平成 28 年 3 月に開所した浜地域農業再生研究センターが、引き続き、営農再開に向けた作付実証栽培に取り組んでいる。平成 28 年度の取組は下記のとおりである。

ア 営農再開に向けた実証栽培 (21 課題)

No	実証地区	品目	面積 (a)	課題名	H28 年度の成果
1	南相馬市 小高区	野菜	10	野菜の放射性セシウム吸収抑制対策の実証	除染後農地でも耕起や土壌改良により生産性が確保でき、食品の基準値を大幅に下回る野菜が生産可能であることを実証した。
2	川内村 下川内	エゴマ	8	エゴマの機械化体系および輪作体系の実証	エゴマの機械化栽培体系の実証を行った。過去の気象データ等から、川内村で 5ha の栽培を想定した場合の定植作業適期は、6 月 2~6 半月であることを明らかにした。
3	川内村 下川内	タマネギ	10	エゴマ後作としてのタマネギの機械化栽培体系の実証	エゴマ後作として、土地利用型作物のタマネギ機械栽培体系を開始し、エゴマ+タマネギの輪作体系化の実証に取り組んでいる。
4	葛尾村 広谷地	野菜	2.7	野菜の放射性セシウム吸収抑制対策の実証	コマツナ、ホウレンソウおよびダイコンの ¹³⁷ Cs濃度はいずれも基準値(100Bq/kg)を大きく下回った。林縁部に近いほど土壌中の交換性カリ含量に関わらず、 ¹³⁷ Cs濃度が高まる傾向がみられた。
5	広野町 折木	リンドウ	2	既存研究成果を活用したリンドウ栽培の実証	広野町では、リンドウ極早生品種「ふくしま凍夏」は露地栽培で、6月上旬からの出荷が可能であった。また、早生品種「ふくしまさやか」は、小トンネルを2月下旬~3月下旬まで被覆することで、7月上旬の新盆需要期の出荷割合が増加することを実証した。
6	楢葉町 上繁岡	トルコギキョウ	1	トルコギキョウ2月定植季咲作型の実証	浜通り平坦地域(楢葉町)において、2月中旬に大苗を定植すると、無加温パイプハウスでも6月中下旬から高品質な切り花が出荷できることを実証した。
7	楢葉町 上繁岡	トルコギキョウ	1	イチゴ冷温育苗施設を用いたトルコギキョウ育苗の実証	秋冬期定植作型におけるトルコギキョウ育苗管理技術の実証するため、既存のイチゴ冷温育苗施設を活用した栽培を実施した。
8	楢葉町 上繁岡	小ギク	1	小ギク露地電照栽培の実証	楢葉町において、電照反応性の高い品種を用いて電照栽培を行うことで、小ギク需要期である8月上旬からの旧盆前に確実に出荷できることを実証した。
9	浪江町 幾世橋	小ギク	1	小ギク露地再電照栽培の実証	浪江町において、電照反応性の高い品種を用いて、電照消灯日を調整することで、いずれの品種でも目標とした日に計画通り開花を誘導することが可能であることを実証した。

No	実証地区	品目	面積 (a)	課 題 名	H28年度の成果
10	南相馬市 小高区	シュッコンカ スミソウ	2	シュッコンカスミソウ 栽培体系の実証	南相馬市小高区におけるシュッコンカスミソウの秋冬出荷作型の開花時期、切り花品質等を明らかにした。また、越冬株にするための栽培を継続中である。
11	川俣町 山木屋	飼料用トウ モロコシ	50	除染後農地における飼料用 トウモロコシ栽培の実証	飼料用トウモロコシ栽培に当たり防護柵（電気柵、ワイヤーメッシュ柵、併用柵）を設置することで、イノシシの侵入防止が可能であることを実証した。
12	浪江町 高瀬	牧草	10	永年生牧草の放射性セシウム 吸収抑制技術の実証	除染後農地で、イネ科牧草にアカクロバを混播して栽培することで、給与時のミネラルバランスが改善されることを実証した。
13	富岡町 上手岡	飼料作物 (春夏作)	6	永年生牧草の放射性セシウム 吸収抑制技術の実証	除染後農地で放射性セシウム吸収抑制対策として塩化カリ、又は堆肥を施用して単年生飼料作物を栽培することで、生産物の放射性セシウム濃度が飼料の暫定許容値100Bq/kg（水分80%換算）以下となることを実証した。
14	富岡町 上手岡	飼料作物 (秋冬作)	6	飼料作物の放射性セシウム 吸収抑制技術の実証	放射性セシウム濃度が飼料の暫定許容値100Bq/kg（水分80%換算）以下となる牧草を生産するとともに、カリウム吸収量の低い草種を明らかにするため、永年生牧草を栽培した（継続中）。
15	飯舘村 伊丹沢	畜舎、及び 周辺環境整備	5	経営再開のための畜舎 及び周辺環境整備の実証	肉用牛繁殖経営再開のため、畜舎、及びパドックの清掃や修繕を行うことで、空間線量率や表面汚染密度が低減することを実証した。
16	飯舘村 二枚橋	緑肥景観作物 (ヒマワリ)	11	除染後農地の効果的な 農地保全方法の実証	散播による播種や鳥害で、個体密度と生育量にむらが出たが、播種後約40日に景観形成した。短稈品種で草丈が低く、栽培後の地上部のすき込みをロータリーで実施できた。
17	双葉町 中野	地力増進作物 (春夏作)	38	除染後農地の効果的な 農地保全方法の実証	排水性の悪い実証ほ場では、セスパニアの生育が良好であり、土壌への炭素・窒素供給量も多かった。また、各種作物、及び雑草をすき込むことにより、土壌中の可給態窒素が高まった。
18	双葉町 中野	地力増進作物 (秋冬作)	38	除染後農地の効果的な 農地保全方法の実証	春夏作でセスパニア、クロタラリア、ソバをすき込んだ区にイタリアンライグラスを播種し、生育量を比較した。
19	大熊町 大川原	地力増進作物 (春夏作)	13.2	除染後農地の効果的な 農地保全方法の実証	各種作物、及び雑草をすき込むことにより、土壌中の可給性窒素が高まった。
20	大熊町 大川原	地力増進作物 (秋冬作)	13.2	除染後農地の効果的な 農地保全方法の実証	春夏作としてソルガム、ヒマワリ、クロタラリアをすき込んだ区にヘアリーベッチを播種して、生育量を比較した。
21	南相馬市 小高区	地力増進作物	14	除染後農地の効果的な 農地保全方法の実証	ヘアリーベッチや雑草のすき込みにより、土壌中の可給態窒素が増加した。また、ヘアリーベッチの被覆割合は高く、抑草効果もあることを確認した。

(5) 農業総合センターシンポジウム

開催日時 平成28年11月22日

場 所 農業総合センター 多目的ホール

参加者数 合計127名（講師・来賓5名、生産者・一般5名、東北農研4名、市町村2名、全農・JA14名、県関係（本庁・普及）15名、センター職員75名）

内 容

第1部 農業総合センターの主要な研究成果について

1 放射性物質対策関連の成果

「カリ肥料の施用による作物の放射性セシウム抑制対策」

齋藤 隆・平山 孝・藤村 恵人・佐久間 祐樹・佐藤 誠

2 品種開発関連の成果

「福島県開発の水稻品種（天のつぶ、里山のつぶ等）」 佐藤 弘一

「福島県の種雄牛（黒毛和種）高百合・多久実」 佐藤 亮一

3 栽培関連の成果

「福島県の被災地支援のための周年安定生産を可能とする花き栽培技術の実証研究」 矢吹 隆夫

4 環境関連の成果

「モモとリンゴの共通防除体系の確立」 柳沼 久美子

第2部 トークセッション ～近未来の農業研究について～

1 基調講演 「農業の国際化に対応した地域農業研究の推進方向」

講師 東京農業大学名誉教授 門間 敏幸 氏

2 トークセッション 東京農業大学 名誉教授 門間 敏幸 氏

有限会社高ライスセンター 代表取締役 佐々木 教喜 氏

合同会社飯豊ファーム 代表社員 竹澤 一敏 氏

福島県農業総合センター 所長 小巻 克巳

2 指導・啓発活動

(1) 研修会

No	所属	担当者	内 容	年月日	主 催 者
1	企画経営部	木幡栄子	平成28年度第1回鳥獣害対策技術向上研修	2016. 5. 26	農業振興課
2		穂積 彰	大豆生産ほ場排水対策現地試験見学会	2016. 5. 26	農業振興課
3		木幡栄子	鳥獣被害対策地域リーダー育成研修会（基礎編）	2016. 6. 3	環境保全農業課
4		木幡栄子	県北地方有害鳥獣被害防止対策研修	2016. 6. 17	県北農林事務所
5		木幡栄子	県南地方有害鳥獣被害防止対策技術研修	2016. 6. 23	県南農林事務所
6		木幡栄子	NOSAI福島連合会研修会（「鳥獣被害防止対策について」）	2016. 6. 27	N O S A I 福島連合会
7		青田 聡	県北地方農林水産業再生セミナー	2016. 9. 2 ～ 3	県北農林事務所
8		木幡栄子	鳥獣害対策担当者会議	2016. 9. 5	環境保全農業課
9		木幡栄子	営農指導員専門技術研修（鳥獣害対策）	2016. 11. 8 ～ 9	J A 全農福島
10		穂積 彰	第14回農村整備事業成果発表会	2016. 11. 11	農村計画課
11		木幡栄子	第2回両沼地域鳥獣被害対策担当者連携会議	2016. 11. 17	会津農林事務所会津下農業普及所
12		穂積 彰	平成28年度県北支部管内 土地改良区職員 市町村担当職員研修会	2016. 11. 25	水土里ネット福島県北支部
13		穂積 彰	水田転作ほ場排水対策試験現地見学会	2016. 12. 9	農業総合センター
14		青田 聡	農作業安全研修会	2017. 1. 20	県中農林事務所田村農業普及所
15		河原田友美	農作業安全研修会	2017. 1. 20	J A ふくしま未来福島地区
16		仁井智己 小泉拓真	南会津地方新規就農者等冬期研修会	2017. 2. 14	南会津農林事務所
17		青田 聡	県南地方農林水産業再生セミナー	2017. 2. 21	県南農林事務所
18		青田 聡	相双地方農林水産業再生セミナー	2017. 3. 13	相双農林事務所
19		木幡栄子	平成28年度イノシシ等鳥獣被害防止対策研修会	2017. 3. 14	郡山市

(1) 研修会 その2

No	所属	担当者	内 容	年月日	主 催 者	
20	生産環境部	中山秀貴	産米改善対策会議（コメのCd吸収抑制対策について）	2016. 5. 31	水田畑作課	
21		東條浩幸	家庭園芸研修	2016. 6. 2	福島県退職校長会	
22		東條浩幸	J A全農営農指導員研修	2016. 7. 13	J A全農福島	
23		小森秀雄 清田裕司	専門技術向上研修（作物）	2016. 7. 27	農業振興課	
24		菅野英二 山内富士男 三本菅猛 畑 有季	専門技術向上研修（野菜・花き）	2016. 8. 4	農業振興課	
25		大越 聡	郡山地域青年農業者スキルアップセミナー	2016. 9. 12	県中農林事務所	
26		中山秀貴 佐藤翔平	専門技術向上研修（土壌・栄養診断）	2016. 11. 9	農業振興課	
27		菅野英二	農薬談話会	2016. 11. 24	農薬商業組合	
28		菅野英二	トマト部会勉強会	2016. 11. 28	J A東西しらかわ	
29		東條浩幸	農薬管理指導士認定研修、 農薬適正使用アドバイザー認定研修	2016. 11. 29	環境保全農業課	
30		大越 聡	農薬管理指導士認定研修	2016. 11. 30	環境保全農業課	
31		荒井義光	福島県農業高校実習担当教諭研修会	2016. 12. 6	相馬農業高校	
32		大越 聡	きゅうり生産振興セミナー	2016. 12. 14	県中農林事務所	
33		國分計恵子 馬淵志奈	あんぽ柿非破壊品質評価法について	2017. 1. 10	J Aふくしま未来	
34		國分計恵子 馬淵志奈	あんぽ柿非破壊品質評価法について	2017. 1. 13	J Aふくしま未来	
35		大越 聡	青年農業者等土づくり勉強会	2017. 2. 6	須賀川農業普及所	
36		國分計恵子	リンゴ「べにこはく」の加工	2017. 2. 6	福島市リンゴ研究会	
37		畑 有季	アスパラガス冬期栽培講習会	2017. 2. 20	J A会津よつば	
38		國分計恵子	農業士研修会（青果物の鮮度保持について）	2017. 3. 3	県北農林事務所	
39		畑 有季	秋田県病虫害防除研修会	2017. 3. 17	秋田県植物防疫協会	
40		作物園芸部	五十嵐裕二	平成 28 年産大豆種子場設置会議 （「大豆種子採取技術について」）	2016. 4. 22	福島県米改良協会
41			矢吹隆夫	塙町ダリア切花生産等推進協議会総会研修会 （「ダリア栽培試験の取組について」）	2016. 5. 10	塙町ダリア切花生産等推進協議会
42			安田裕基子	平成 28 年度「里のほほえみ」導入実証ほ設置会議 （「里のほほえみ」の品種特性と栽培管理について）	2016. 5. 25	J A全農福島
43			渡邊和弘	種子場研修会	2016. 6. 2	福島県米改良協会
44			渡邊和弘	営農指導員研修会	2016. 6. 3	J A福島中央会
45			五十嵐裕二	畑作物技術講習会（大豆の栽培管理について）	2016. 6. 27	N O S A I 福島
46			藤澤弥榮	密苗研修会	2016. 6. 28	福島県稲作経営者会議
47			藤澤弥榮	「天のつぶ」の栽培について	2016. 7. 5	福岡堰土地改良区
48			影山浩昭	全肥商連栽培研修会	2016. 7. 11	全肥商連福島県部会
49			古和田壘	たばこ作柄検討会	2016. 7. 12	福島県たばこ耕作組合
50			新妻和敏	営農指導員研修会	2016. 7. 14	J A福島中央会
51			鈴木詩帆里	露地電照小ギク栽培実証ほ現地検討会 （「夏秋小ギクの電照による計画出荷について」）	2016. 7. 21	県北農林事務所安達農業普及所
52			矢吹隆夫	福島県鉢花生産者協議会研修会 （「鉢花栽培試験の取組について」）	2016. 7. 28	福島県鉢花生産者協議会

(1) 研修会 その3

No	所属	担当者	内 容	年月日	主 催 者
53	作物園芸部	藤澤弥榮	密苗研修会	2016. 8. 8	県南農林事務所
54		佐久間光子	郡山市トルコギキョウセミナー (「トルコギキョウ夏季高温対策試験の取組について」)	2016. 8. 17	郡山市園芸振興センター
55		平山 孝	J A 東西しらかわこんにゃく立毛品評会 (審査・講評の実施)	2016. 9. 2	J A 東西しらかわ
56		藤澤弥榮	O J T 研修会	2016. 9. 28	県中農林事務所
57		五十嵐裕二	あぶくま地域のそば生産振興に関する打合せ	2016. 10. 3	水田畑作科・そば王国協議会
58		五十嵐裕二 平山 孝	エゴマ現地コンバイン収穫実演	2016. 10. 4	浜地域農業再生研究センター
59		五十嵐裕二 平山 孝	エゴマ現地コンバイン収穫実演	2016. 10. 14	田村市
60		鈴木詩帆里	攻めの農業技術革新事業実証は実績検討会 (「福島県における小ギクの電照栽培試験について」)	2016. 10. 28	会津農林事務所会津坂下農業普及所
61		渡邊和弘	農薬適正使用アドバイザー認定研修	2016. 11. 29	環境保全農業課
62		藤澤弥榮	農薬適正使用アドバイザー認定研修	2016. 12. 2	環境保全農業課
63		平山 孝	平成 28 年度方部別専門研修 (会津・作物) (ナタネ・エゴマの栽培法について)	2016. 12. 12	会津農林事務所
64		鈴木詩帆里	会津地方花きセミナー (「福島県における露地夏秋小ギクの電照栽培試験について」)	2016. 12. 13	会津農林事務所 J A 全農福島
65		鈴木詩帆里	中通り地方花き研修会 (「福島県における露地夏秋小ギクの電照栽培試験について」)	2016. 12. 15	県北農林事務所安達農業普及所 県中農林事務所田村農業普及所
66		円谷祐未	会津地方“攻め”のトマト振興セミナー	2017. 2. 13	会津農林事務所 J A 会津よつば、J A 全農福島
67		鈴木詩帆里	相双地方花き振興セミナー (「小ギクの電照栽培技術について」)	2017. 2. 16	相双農林事務所
68		五十嵐裕二 平山 孝	エゴマ産地情報交換会	2017. 2. 17	農業総合センター
69		影山浩昭	県南地方農林水産業再生セミナー	2017. 2. 21	県南農林事務所
70		小林智之	平成 28 年度県南地方いちご生産振興セミナー (「いちご栽培における光利用技術」)	2017. 2. 24	J A 東西しらかわ
71		影山浩昭	相双地方農林水産業再生セミナー	2017. 3. 13	相双農林事務所
72		平山 孝	J A 東西しらかわ中部営農センターこんにゃく生産部会第 11 回通常総会 (立毛品評会の審査講評)	2017. 3. 16	J A 東西しらかわ
73	安田裕基子	平成 28 年度「里のほほえみ」導入実証は設置実績検討会 (大豆新品種「里のほほえみ」の試験結果概要)	2017. 3. 17	J A 全農福島	
74	古和田 墨	「豆でもうけるセミナー i n 県南」 (大豆省力安定栽培法に関する試験の取組)	2017. 3. 21	県南農林事務所	
75	佐久間光子	J A ふくしま未来そうま地区トルコギキョウ生産部会研修会 (「トルコギキョウ+カンパニョウ組合せ実証栽培試験の成果について」)	2017. 3. 23	J A ふくしま未来そうま地区	
76	鈴木詩帆里	J A 夢みなみすかがわ岩瀬地区花卉部雪柳班全体会 (「ユキヤナギ試験の取組経過について」)	2017. 3. 24	J A 夢みなみすかがわ岩瀬地区	
77	果樹研究所	荒川昭弘	J A 全農営農指導員養成技術研修	2016. 5. 24	J A 全農福島
78		桑名 篤	営農指導員専門技術研修会 (ブドウ)	2016. 5. 31	J A 福島中央会
79		柳沼久美子 吉田昂樹	営農指導員専門技術研修会 (病害虫)	2016. 6. 1	J A 福島中央会
80		安達義輝 小野勇治 額田光彦 柳沼久美子 吉田昂樹	専門技術向上研修 (栽培・病害虫)	2016. 6. 14	農業振興課
81		岡田初彦	営農指導員専門技術研修会 (育種)	2016. 6. 21	J A 福島中央会
82		安達義輝	営農指導員専門技術研修会 (モモ)	2016. 6. 22	J A 福島中央会
83		増子俊明	N O S A I 福島県北支所 果樹栽培技術講習会	2016. 6. 24	N O S A I 福島県北支所

(1) 研修会 その4

No	所属	担当者	内 容	年月日	主 催 者
84	果樹研究所	額田光彦	営農指導員専門技術研修会（ナシ）	2016. 7. 19	J A福島中央会
85		小野勇治	営農指導員専門技術研修会（リンゴ）	2016. 7. 20	J A福島中央会
86		額田光彦 増子俊明	園芸重点品目専門部会研修会 〔「日本なしジョイント樹形・新文字型樹形」夏季管理研修会 ナシ新品種「香麗」試食検討会〕	2016. 8. 5	園芸課
87		安達義輝 額田光彦	専門技術向上研修（モモ・ナシ）	2016. 8. 22	農業振興課
88		赤井広子	肥料及び果樹施肥関係勉強会	2016. 9. 26	飯坂アグリ倶楽部
89		川口悦史	農薬管理指導士認定研修	2016. 11. 29	環境保全農業課
90		安達義輝	営農指導員専門技術研修会（モモ）	2016. 12. 6	J A福島中央会
91		小野勇治	営農指導員専門技術研修会（リンゴ）	2016. 12. 7	J A福島中央会
92		荒川昭弘	農薬講習会	2016. 12. 12	福島県農薬卸商業組合
93		安達義輝	専門技術向上研修（モモ）	2016. 12. 12	農業振興課
94		額田光彦 桑名 篤	専門技術向上研修（ナシ・ブドウ）	2016. 12. 13	農業振興課
95		小野勇治	専門技術向上研修（リンゴ）	2016. 12. 14	農業振興課
96		額田光彦 小野勇治 安達義輝 柳沼久美子 吉田昂樹 岡田初彦	園友会冬季研修会 〔「リンゴ・モモ・ナシのせん定、果樹病害虫」 およびリンゴ福島6号について〕	2017. 1. 13	福島県園友会
97		安達義輝 柳沼久美子	営農指導員養成教室（モモ栽培・モモ病害）	2017. 1. 26	JA ふくしま未来
98		小野勇治 安達義輝	果樹経営者研究会研修会（せん定）	2017. 1. 30	福島県果樹経営者研究会
99	岡田初彦 柳沼久美子	果樹経営者研究会研修会 （品種開発動向、病害虫防除対策等）	2017. 1. 31	福島県果樹経営者研究会	
100	赤井広子	果樹土壌分析に関する説明会	2017. 2. 24	JAふくしま未来福島地区本部	
101	額田光彦 増子俊明	園芸重点品目専門部会研修会 〔「日本なしジョイント樹形・新文字型樹形」せん定研修会〕	2017. 2. 27	園芸課	
102	畜産研究所	大西英高 妹尾 毅	平成28年度セリ前ミニ講座 「福島県基幹種雄牛について」	2016. 6. 7 ～ 8	畜産課
103		矢内清恭 田中道也	平成28年度福島県学校農業クラブ連盟 「家畜審査競技大会」	2016. 6. 8 ～ 9	福島県学校農業ク ラブ連盟 福島県高等学校文 化連盟
104		佐藤妙子	平成28年度川俣シャモ飼養技術スキルアップ研修会	2016. 8. 2	川俣シャモ振興会
105		青山勝也	銘柄豚の肉質について	2016. 8. 26	麓山高原豚振興協 議会
106		菅野 登	平成28年度セリ前ミニ講座 「平成27年度放射線関連成果情報」	2016. 9. 6 ～ 7	畜産課
107		渡邊鋼一 妹尾 毅	同 「子牛管理のポイント」	2016. 10. 5 ～ 6	畜産課
108		國分洋一	同 「繁殖管理技術について」	2016. 11. 8～9	畜産課
109		佐藤妙子	会津地鶏品種改良の方向性について	2016. 12. 9	会津地鶏協会
110		田中道也 瀧脇広子 佐藤亮一 妹尾 毅 渡邊鋼一 矢内清恭 門屋義勝	家畜人工授精講習会	2017. 1～2	畜産課

(1) 研修会 その5

No	所属	担当者	内 容	年月日	主 催 者
111	畜産研究所	佐藤亮一	平成 28 年度福島県家畜人工授精協会研修会	2017. 3. 17	福島県家畜人工授精師協会
112		佐藤妙子	種鶏改良増殖施設について	2017. 3. 23	福島県養鶏協会(レイヤー会)
113	会津地域研究所	永山宏一	J A 会津みどり食の安全安心推進会議	2016. 4. 4	J A 会津みどり
114		永山宏一	川内村ブルーベリー研修会	2016. 4. 8	川内村
115		相原隆志	檜枝岐村山ブドウ現地調査	2016. 4. 20	南会津農林事務所
116		大竹真紀	第 1 回花き技術情報会議 (宿根カスミソウ電照栽培技術)	2016. 6. 14	農業振興課
117		川島 寛	全肥商連研修会	2016. 7. 6	全肥商連福島県部会
118		大竹真紀	第 2 回花き技術情報会議 (宿根カスミソウの据え置き栽培)	2016. 7. 12	農業振興課
119		大竹真紀	カラー専門部勉強会 (カラー試験研究について)	2016. 7. 12	J A 会津よつばフ ラワー生産部会
120		大竹真紀	第 3 回花き技術情報会議 (宿根カスミソウの電照現地試験)	2016. 8. 2	農業振興課
121		吉田直史	酒造好適米現地検討会	2016. 8. 8	南会津農林事務所
122		永山宏一	会津地方における農業試験研究の取組	2016. 9. 2	高等学校教頭会農業水産部会
123		吉田直史	福島県オリジナル品種「里山のつぶ」現地検討会	2016. 9. 2	南会津農林事務所
124		大竹真紀	花き講演会 (宿根カスミソウ試験研究の取組)	2016. 11. 18	園芸課
125		大竹真紀	会津地方花き振興セミナー (宿根カスミソウ電照栽培技術)	2016. 12. 13	会津農林事務所
126		大竹真紀	宿根カスミソウ技術革新セミナー (宿根カスミソウ電照栽培技術)	2017. 2. 27	南会津農林事務所
127		相原隆志	J A 会津よつば下郷果樹部会せん定講習会	2017. 3. 16	J A 会津よつば
128		吉田直史	会津若松市酒造好適米品質向上検討会	2017. 3. 28	会津若松市
129	浜地域研究所	三田村敏正	シュッコンカスミソウ実証栽培勉強会	2016. 4. 27	南相馬市農政課
130		三田村敏正	田んぼの生き物研修会	2016. 6. 26	J A 夢みなみ白河支店
131		菅野拓朗	水稻栽培研修会	2016. 7. 4	上北二農事組合
132		菅野拓朗	水稻生育管理等指導講習会	2016. 7. 7	全肥商連福島県部会
133		門田敦生	夏ネギ栽培視察研修会	2016. 7. 12	J A ふうま未来中村営農センター
134		門田敦生	業務用タマネギ生産技術セミナー	2016. 7. 23	福島県
135		菅野拓朗	水稻技術視察研修会	2016. 8. 26	福島県神薙会
136	浜地域農業再生 研究センター	鈴木洋平 江川孝二	シュッコンカスミソウ勉強会 (シュッコンカスミソウの実証研究について)	2016. 4. 27	南相馬市
137		鈴木洋平 江川孝二	南相馬市小高区カスミソウ収穫期勉強会 (シュッコンカスミソウの栽培管理と開花状況について)	2016. 12. 22	南相馬市
138		鈴木洋平	トルコギキョウ栽培講習会 (平成 28 年度トルコギキョウ実証研究の成果について)	2017. 1. 31	相双農林事務所双葉農業普及所 J A 福島さくら
139		鈴木洋平	相双地方花き振興セミナー (相双地方における花きの実証栽培の結果について)	2017. 2. 16	相双農林事務所
140		松木伸浩	県南地方農林水産業再生セミナー (ほ場管理軽労化に向けた小型除草ロボットの開発・実証)	2017. 2. 21	県南農林事務所
141		松木伸浩	相双地方農林水産業再生セミナー (ほ場管理軽労化に向けた小型除草ロボットの開発・実証)	2017. 3. 13	相双農林事務所

(2) 技術指導資料

No	所 属	掲 載 資 料 名	発行年月	発 行
1	企画技術科、作物保護科、環境・作物栄養科、流通加工科、野菜科、花き科、果樹研究所、畜産研究所、浜地域研究所	食料生産地域再生のための先端技術展開事業平成28年度成果集	2016.12	農林水産省農林水産技術会議事務局 宮城県 農業・園芸総合研究所、水産技術総合センター 岩手県 農業研究センター、水産技術センター 福島県 農業総合センター
2	浜地域農業再生研究センター	除染後農地の施肥診断マニュアル（第一版）	2017. 2	農業総合センター（Web 公開）
3	浜地域農業再生研究センター	土壌溶液中カリウム測定による玄米中放射性セシウムの基準値超過リスク診断技術マニュアル（第一版）	2017. 2	農業総合センター（Web 公開）

(3) 技術相談対応件数（平成 28 年度）

部 所	月												合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
安全農業推進部	指導・有機認証課	4	2	2	3	2	0	2	0	2	0	0	1	18
	発生予察課	3	5	7	15	5	12	5	4	0	1	1	2	60
	分析課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	部合計	7	7	9	18	7	12	7	4	2	1	1	3	78
有機農業推進室	5	4	2	2	1	5	1	2	4	3	2	3	34	
企画経営部	企画技術科	3	2	2	3	3	2	2	2	0	0	1	1	21
	経営・農作業科	2	3	1	1	2	1	0	1	2	2	1	1	17
	部合計	5	5	3	4	5	3	2	3	2	2	2	2	38
生産環境部	作物保護科	15	11	20	17	13	5	12	7	2	2	1	8	113
	環境・作物栄養科	10	8	6	4	4	6	7	4	2	2	4	3	60
	流通加工科	8	0	2	4	6	4	2	1	0	0	1	6	34
	部合計	33	19	28	25	23	15	21	12	4	4	6	17	207
作物園芸部	品種開発科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稲作科	1	11	1	0	1	0	0	0	1	0	0	3	18
	畑作科	3	2	2	1	0	4	1	0	0	0	1	2	16
	野菜科	2	5	5	3	5	3	4	2	2	2	5	4	42
	花き科	5	2	2	4	1	1	1	1	2	1	1	0	21
	部合計	11	20	10	8	7	8	6	3	5	3	7	9	97
本部合計	61	55	52	57	43	43	37	24	17	13	18	34	454	
果樹研究所	25	20	26	28	15	26	16	10	10	10	11	16	213	
畜産研究所	0	0	2	0	1	0	1	0	0	2	1	0	7	
会津地域研究所	5	7	7	5	1	0	1	2	1	1	0	1	31	
浜地域研究所	0	3	2	3	1	0	0	0	0	0	0	1	10	
浜地域農業再生研究センター	15	18	20	17	25	20	23	30	11	7	14	8	208	
農業総合センター合計	106	103	109	110	86	89	78	66	39	33	44	60	923	

3 主要農作物種子生産実績

主要農作物種子法に基づき、原原種・原種ほを設置し、優良種子を生産することにより本県主要農作物の生産性と品質向上を図った。

(1) 担当者

所 属	職	氏 名	担当作物
事務部			
農場管理課	主任主査（兼）課長	阿部 和博	－
作物園芸部	部 長	佐藤 博志	－
稲作科	科 長	藤澤 弥榮	水稲
	主任研究員	渡邊 和弘	水稲
畑作科	科 長	五十嵐裕二	小麦、大豆、なたね
	専門研究員	小野里正信	小麦、大豆、なたね
	研究員	安田裕基子	小麦、大豆
会津地域研究所	主任専門研究員兼所長	永山 宏一	－
	専門研究員	吉田 直史	水稲、小麦
	主任研究員	野田 正浩	水稲
	主任研究員	真部 武	小麦
浜地域研究所	主専研兼所長	佐藤 誠	水稲
	研究員	菅野 拓朗	水稲

(2) 原原種・原種ほ設置面積 (a)

項目	水 稲	小 麦	大 豆
原原種 直 営	20	0	8
原 種 直 営	548	10	30
原 種 委 託	0	0	10
合 計	568	10	48

(3) 生産状況

ア 水稲

区分	品種	生産地	面積(a)	生産量(kg)
原原種 直営	コシヒカリ	会津地域研究所	10	216
	五百万石	会津地域研究所	5	60
	ふくひびき	本 部	3	60
	里山のつづ	本 部	2	56
	小 計		20	392
原 種 直営	コシヒカリ	会津地域研究所	263	12,263
	ひとめぼれ	会津地域研究所	101	4,534
	天のつづ	本 部	55	1,240
	あきたこまち	本 部	15	340
	チヨニシキ	本 部	27	900
	里山のつづ	本 部	16	520
	こがねもち	会津地域研究所	41	1,250
	ふくひびき	浜地域研究所	30	860
小 計		548	21,907	
合 計		568	22,299	

イ 小麦

区分	品種	生産地	面積(a)	生産量(kg)
原 種 直営	ゆきちから	会津地域研究所	10	240
合 計			10	240

ウ 大豆

区分	品種	生産地	面積(a)	生産量(kg)
原原種	タチナガハ	本 部	4	20
	あやこがね	本 部	4	20
	小 計		8	40
原 種	あやこがね	本 部	30	270
	タチナガハ	大玉村	10	180
	小 計		40	450
合 計			48	490

4 オリジナル品種の親株等の供給実績

育成オリジナル品種について、種苗増殖するための親株等を育成し、許諾先に供給した。

作物	品種名	規格	供給数量	供 給 先	生 産 地
桑	きぬゆたか	根付き苗	220 本	県内農家	本部
リンドウ	ふくしまかれん	子房親	50 株	全農福島県本部	本部
	ふくしましおん	子房親	20 株		
	ふくしま凜夏	子房親	7 株		
		花粉親	22 株		
		種子	1,400 mg		
モモ	はつひめ	穂木	8 kg	株式会社福島天香園	果樹研究所
			5 kg	菅野果樹園	
	ふくあかり	穂木	17 kg	株式会社福島天香園	
			5 kg	菅野果樹園	果樹研究所
リンゴ	べにこはく	穂木	10 kg	株式会社福島天香園	果樹研究所
			3 kg	菅野果樹園	
	会津のほっぺ	穂木	2 kg	株式会社福島天香園	果樹研究所
ブドウ	あづましずく	穂木	5 kg	株式会社福島天香園	果樹研究所
			7 kg	株式会社三春花園	
ソバ	会津のかおり	原原種	150 kg	会津のかおり種子協議会	会津地域研究所
オタネニンジン	かいしゅうさん	種子	100 粒	会津農林高校	会津地域研究所

5 家畜管理及び生産実績

(1) 畜産研究所本所

ア 家畜繁養実績

(ア) 種雄畜

(頭)

畜種及び品種	年度初頭数	受 入		払 出		年度末頭数
		購 入	組 替	廃用	その他	
牛 黒 毛 和 種	11	-	1	-	-	12
豚 ランドレース種	4	-	3	2	-	6
デュロック種	7	-	3	1	-	9
大ヨークシャー種	2	-	-	-	-	2

(イ) 基幹種雄牛(黒毛和種)

名 号	生年月日	産 地	血 統		育種価(H28.7評価)		
			父	母の父	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	脂肪交雑基準値 (BMS No.)
たかゆり 高百合	H20. 8. 21 黒原5303	双葉郡 川内村	百合茂	安福栄	68,081	13,247	2,172
かつはやしげ 勝隼茂	H17. 10. 11 黒原4850	石川郡 石川町	平茂勝	第5隼福	80,000	8,482	2,385
ふくかげさくら 福景桜	H17. 11. 22 黒原4949	耶麻郡 猪苗代町	景 東	福 桜	42,679	14,775	2,145
きたひらしげ 喜多平茂	H16. 10. 25 黒14188	喜多方市	平茂勝	北国7の8	66,338	8,956	2,409
ふくふくさかえ 福福栄	H16. 10. 13 黒14135	伊達郡 川俣町	福 栄	平茂勝	46,786	4,891	1,788
だい かつひかり 第1勝光	H15. 3. 27 黒原4570	本宮市	平茂勝	東平茂	97,584	15,748	2,140
はやひらしげ 隼平茂	H14. 6. 19 黒原4440	石川郡 玉川村	第5隼福	東平茂	40,725	13,756	2,305
とみたか 登美貴	H10. 8. 20 黒原3937	双葉郡 浪江町	北国7の8	高 栄	32,651	5,986	1,850
かつひらやす 勝平安	H20. 12. 25 黒原5373	田村市	北平安	平茂勝	58,124	13,995	2,231
ふくとよき 福豊喜	H21. 2. 4 黒14724	喜多方市	安糸福	平茂勝	69,113	4,249	2,345
さくらさくひかり 桜咲光	H20. 8. 7 黒原5302	耶麻郡 猪苗代町	第1勝光	福桜(宮崎)	55,310	10,522	1,949
たくみ 多久実	H22. 10. 1 黒原5638	石川郡 玉川村	安福久	安平	21,270	15,905	2,873

(ウ) 種雄豚

品 種	名 号 (登録番号)	生年月日	血 統	
			父	母
ランドレース種	フクシマ ⅡL フクチク 7 0169 (LL07-A000032)	H25. 10. 4	フクシマ ⅡL 2-108-155-329-1995 08 証明番号LL07-Y079945	フクシマ ⅡL 2-103-244-178-3544 10 証明番号LL07-Z475515
(フクシマL2)	フクシマ ⅡL フクチク 8 0074 (LL07-A000042)	H26. 3. 29	フクシマ ⅡL 2-115-36-138-2884 09 証明番号LL07-Y079947	フクシマ ⅡL 2-103-244-178-3544 10 証明番号LL07-Z475515
	フクシマ ⅡL フクチク 8 0167 (LL07-A000063)	H26. 10. 1	フクシマ ⅡL 2-6-241-111-2976 10 証明番号LL07-Y080348	フクシマ ⅡL 2-103-168-360-3582 10 証明番号LL07-Z475520
	フクシマ ⅡL フクチク 7 0007 (LL07-A000070)	H27. 1. 23	フクシマ ⅡL 2-6-241-111-2976 10 証明番号LL07-Y080308	フクシマ ⅡL 2-103-265-348-3580 10 証明番号LL07-Z475518
	フクシマ ⅡL フクチク 4 0071 (LL07-A000075)	H27. 5. 3	フクシマ フクチク 6 0197 証明番号LL07-A000035	フクシマ ⅡL フクチク 4 0314 証明番号LL07-A000012
デュロック種	フクシマ デー-モモ知ウ12 フクチク 1 0063 証明番号DD07-A000020	H24. 6. 12	フクシマ デー-モモ知ウ-119-126-4-4192 11 証明番号DD07-Y500179	フクシマ デー-モモ知ウ12-130-75-4209 11 証明番号DD07-Z500123
(フクシマD桃太郎)	ナガノ フクシマデー-モモ知 フクチク 1 0062 証明番号DD-07-A000025	H25. 5. 4	ナガノD 475-6-901 証明番号DD21-Y042988	フクシマ デー-モモ知 09 フクチク 5 0026 証明番号DD07-A000002
	ナガノD フクシマ フクチク 2 0018 証明番号 DD07-A000040	H26. 4. 14	ナガノD 1132 1 2606 証明番号DD21-A000054	フクシマ デー-モモ知ウ11 フクチク 1 0090 証明番号DD07-A000007
	ナガノD フクシマ フクチク 4 0067 証明番号 DD07-A000042	H26. 5. 5	ナガノD 969 2 1603 証明番号DD21-A000043	フクシマ デー-モモ知ウ18-144-212-4249 11 証明番号DD07-Z500332
	ナガノD フクシマデー-モモ知 フクチク 1 0035 証明番号 DD07-A000059	H26. 4. 15	ナガノD 1132 1 2606 証明番号DD21-A000059	フクシマデー-モモ知 10 フクチク 6 0004 証明番号DD07-Z500125

品 種	名 号 (登録番号)	生年月日	血 統				
			父		母		
デュロック種	カガド フカマテ-モタ フカク 4 0058	H27. 5. 27	カガド 983 5 8702	フカマテ-モタ 09 フカク 5 0028	証明番号 DD07-A000063	証明番号 DD21-A000106	証明番号 DD07-A000003
大ヨークシャー種	アイリス ダブル2 アイ12 4 0477	H24. 10. 22	アイリス ダブル2 10-170211	アイリス ダブル2 10-170299	証明番号 WW23-A000133	証明番号 WW23-Y039654	証明番号 WW23-Z113787
	アイリス ダブル2 アイ12 8 0526	H24. 11. 25	アイリス ダブル2 09-170277	アイリス ダブル2 08-170623	証明番号 WW23-A000134	証明番号 WW23-Y039655	証明番号 WW23-Z111505

イ 各家畜繫養状況

(ア) 乳用牛移動表

区 分	年度始 頭 数	増 加				減 少				年度末 頭 数
		生産	組替	購入	小計	出荷	組替	その他	小計	
成雌牛	35	-	5	-	5	5	-	1	6	34
育成牛	16	23	-	-	23	10	3	-	15	24
合 計	51	23	5	-	28	15	3	1	21	58

(イ) 肉用牛移動表

区 分	年度始 頭 数	受 入				払 出				年度末 頭 数
		購入	組替	その他	小計	出荷	組替	その他	小計	
基幹種雄牛	11	-	1	-	1	-	-	-	-	12
直接検定牛	7	-	9	-	9	-	12	-	12	4
待 機 牛	7	-	-	-	-	-	1	2	3	4
肥育試験牛	30	17	5	-	22	18	-	1	19	33
供 卵 牛	13	-	4	-	4	-	5	-	5	12
合 計	68	17	19	-	36	18	18	3	39	65

(ウ) 豚移動表

区 分	年度始 頭 数	受 入				払 出				年度末 頭 数	
		生産	導入	組替	小計	出荷	組替	その他	小計		
成豚 (雄)	デュロック	7	-	-	3	3	1	-	1	2	9
	大ヨークシャー	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	ランドレース	4	-	-	3	3	1	-	-	1	6
成豚 (雌)	デュロック	7	-	-	13	13	3	-	2	5	15
	ランドレース	12	-	-	11	11	8	-	-	8	15
	その他	9	-	-	13	13	8	-	2	10	12
試験豚		-	-	-	20	20	20	-	-	20	-
調査豚	デュロック	-	-	-	10	10	10	-	-	10	-
	ランドレース	-	-	-	10	10	9	-	1	10	-
	LWD	-	-	-	10	10	10	-	-	10	-
子豚	デュロック	58	295	-	-	299	40	137	67	248	109
	ランドレース	97	197	-	-	197	60	123	45	228	66
	雑種	133	462	-	-	462	9	477	44	530	52
肥育豚		231	-	-	662	662	733	15	12	760	133
合 計		560	954	-	755	1,709	912	752	174	1,838	419

※ 成豚（雄）及び（雌）の出荷には払下を含む。

ウ 各種生産実績

(ア) 生乳生産販売状況

年 度	生産量	販売量	その他仕向け
21年度	244,116.2	229,463.0	14,653.2
22年度	282,271.7	252,208.0	30,063.7
23年度	272,346.2	241,905.0	30,441.2
24年度	213,863.0	197,742.0	16,121.0
25年度	202,830.0	194,079.0	8,751.0
26年度	213,983.8	209,508.0	4,475.8
27年度	224,513.7	212,350.0	12,163.7

(kg)

年 度	生産量	販売量	その他仕向け
28年度	213,966.7	204,974.0	8,997.7
4月	21,914.6	21,461.0	453.6
5月	20,575.0	19,815.0	760.0
6月	18,691.8	18,508.0	183.8
7月	16,443.0	15,435.0	1,008.0
8月	15,586.8	15,127.0	459.8
9月	17,675.5	16,752.0	923.5
10月	18,619.3	17,836.0	783.3
11月	18,674.7	18,526.0	148.7
12月	17,946.3	16,546.0	1,400.3
1月	16,291.9	15,463.0	828.9
2月	16,133.6	14,568.0	1,565.6
3月	15,414.2	14,937.0	477.2

(イ)肉用牛精液生産実績

(本)

	生 産		払 出		廃 棄
	生産	その他	売払	その他	
前年度繰越	165,477	—	—	—	—
今年度	7,674	—	3,390	67	26,205
H28. 4月	632	—	370	—	—
5月	727	—	329	—	—
6月	1,901	—	343	—	26,205
7月	1,207	—	333	—	—
8月	180	—	441	1	—
9月	149	—	248	6	—
10月	412	—	224	—	—
11月	561	—	245	—	—
12月	433	—	190	30	—
H29. 1月	576	—	259	—	—
2月	537	—	184	—	—
3月	359	—	224	30	—
次年度繰越	143,489	—	—	—	—

(ウ)肉用牛検定実績

a 直接検定実績 (頭)

保 留	検定中
4	0

b 現場後代検定実績 (頭)

対象種雄牛候補	4
---------	---

(エ)牛受精卵生産実績

a 牛受精卵の生産及び受精卵払い下げ

採卵頭数	1頭当たり回収卵数	1頭当たり正常卵数	払い下げ卵数
22 頭	9.2 個	5.9 個	63 個

b 供卵牛

名 号	個体識別番号	生年月日	父	母の父	母の母の父
たつみ	11275 7138 1	H13. 5. 17	平茂勝	北国7の8	景藤
はやさか38	11880 0714 0	H14. 8. 23	平茂勝	菊谷	茂重波
さゆり5の2	01111 5018 2	H18. 7. 15	北平安	平茂勝	安平
かつただ	11912 3672 8	H18. 1. 15	勝忠平	紋次郎	菊谷
ゆりひめ	12367 5334 0	H19. 5. 20	百合茂	平茂勝	菊谷
さき	02424 3704 6	H19. 9. 15	福之国	安平	糸秀
みどり16	12416 9487 4	H19. 9. 2	第1勝光	北国7の8	紋次郎
もみじ26	12523 9369 8	H20. 10. 21	安秀165	平茂勝	北国7の8
おとめ14	12575 2765 4	H22. 8. 27	北平安	第1勝光	福桜(宮崎)
はるか23	13399 2825 6	H23. 9. 24	平茂晴	平茂勝	福桜(宮崎)
はるか24	13399 2826 3	H23. 9. 24	平茂晴	平茂勝	福桜
はるか28	13399 2837 9	H23. 11. 3	平茂晴	平茂勝	福桜(宮崎)

(オ)フクシマL2生産実績(維持頭数及び更新、配布状況)

	実績	内訳	
		雄	雌
種雄豚数(頭)	4	4	-
種雌豚数(頭)	11	-	11
分娩腹数(腹)	26	-	26
生産子豚数(頭)	216	111	105
離乳頭数(頭)	175	-	-
育成率(%)	81.1	-	-
子豚登記数(頭)	25	2	12
自場更新数(頭)	14	3	11
配布場所数(戸)	9	-	-
配布頭数(頭)	15	2	13

(カ)デュロック種「フクシマD桃太郎」生産実績(維持頭数及び更新、配布状況)

	実績	内訳	
		雄	雌
種雄豚数(頭)	7	7	-
種雌豚数(頭)	10	-	10
分娩腹数(腹)	32	-	32
生産子豚数(頭)	290	145	145
離乳頭数(頭)	213	-	-
育成率(%)	73.5	-	-
子豚登記数(頭)	19	7	6
自場更新数(頭)	8	3	13
配布場所数(戸)	8	-	-
配布頭数(頭)	9	7	2

b と体形質

性別 及び 頭数	生体重 と殺前 (kg)	と体重 冷 (kg)	と体長 (cm)	背腰長		と体幅 (cm)	ロース		背脂肪の厚さ		
				I (cm)	II (cm)		長さ (cm)	断面積 (cm ²)	カタ (cm)	セ (cm)	コシ (cm)
去勢 5 (標準偏差)	111.2 3.4	70.0 2.4	87.9 3.1	73.2 2.6	63.9 1.7	34.2 1.2	53.3 2.2	22.7 2.5	2.9 0.4	1.6 0.5	2.5 0.2
雌 5 (標準偏差)	110.4 3.6	70.4 2.4	88.4 3.6	74.0 3.1	64.1 2.8	35.5 1.2	53.8 2.8	24.2 4.4	2.7 0.2	1.5 0.4	2.3 0.3

(キ)飼料作物生産実績

a 牧乾草生産量(本所)

区分	収穫期間	面積(a)	生産量(現物 kg)		乾物生産量(kg)	
			総量	10a当り	総量	10a当り
1 番草	5/12 ~ 5/30	2,290	119,467	522	91,491	400
2 番草	7/18 ~ 8/5	2,290	62,733	274	54,741	239
3 番草	10/10 ~ 10/20	2,290	66,114	289	39,062	171
合計	-	-	248,314	-	185,294	-

b トウモロコシサイレージ(本所)

ほ場No.	収穫期間	面積(a)	生産量(現物 kg)		乾物生産量(kg)	
			総量	10a当り	総量	10a当り
4-1、5	8/31 ~ 9/6	610	199,570	3,635	76,593	1,395

注 収穫面積は、ほ場内枕地を除く実栽培面積

(ク)鶏移動表(成鶏羽数)

区分	年度始 羽数	受入				払出				年度末 羽数	
		生産	導入	組替	小計	出荷	組替	その他	小計		
保存鶏	育成	-	1,376	-	-	1,376	-	519	203	717	-
	成鶏	499	-	-	519	519	-	-	502	502	516
育種鶏	育成	-	2,820	-	-	2,820	-	1883	937	2,820	-
	成鶏	1,831	-	-	1,883	1,883	1,384	4	507	1,895	1,819
種鶏	育成	658	1,405	-	-	1,405	-	1345	18	1,363	700
	成鶏	151	-	-	1,345	1,345	1,370	-	126	1,496	0
実用鶏	育成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成鶏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	3,139	5,601	-	3,747	9,348	2,754	3,751	2,293	8,813	3,035	

(ケ)ふ化実績

区 分	入卵個数 (個)	ふ化羽数(羽)			
		育雛	出荷	その他	
保 存 鶏	7,078	1,376	717	-	659
育 種 鶏	11,481	3,748	2,820	-	928
種 鶏	16,818	9,273	1,445	1,440	6,488
実 用 鶏	3,705	3,317	-	1,067	2,250
計	39,082	17,714	4,982	2,507	10,225

(コ)卵の生産状況

(個)

月	産卵数	卵			
		正常卵	廃棄卵	種 卵	破損卵
4月	35,532	22,854	1,721	9,638	1,319
5月	34,569	26,664	2,055	4,533	1,317
6月	31,808	21,571	2,041	6,658	1,538
7月	20,335	17,889	1,210	162	1,074
8月	2,392	2,033	103	132	124
9月	1,678	1,416	64	131	67
10月	23,726	19,325	3,218	0	1,183
11月	32,304	29,198	2,071	0	1,035
12月	39,694	25,868	2,100	10,613	1,113
1月	39,177	31,532	2,027	4,272	1,346
2月	32,830	26,608	3,884	796	1,542
3月	36,088	19,620	8,840	6,086	1,545
合計	330,133	244,578	29,334	43,021	13,203

(2)沼尻分場

ア 肉用牛移動表

(頭)

品種	区分	年度始 頭 数	受 入				払 出					年度末 頭 数
			生産	組替	その他	小計	出荷	組換	その他	死亡	小計	
黒毛和種	成牛(雌)	85	-	8	4	13	7	-	4	1	12	80
	子牛	33	44	-	-	44	1	31	-	1	33	44
	肥育試験牛	21	-	18	-	18	16	-	-	1	17	22
合 計		139	44	26	5	75	24	31	4	3	62	146

イ 産子成績

(頭)

品種	分娩頭数	(死産)	(へい死)	生産頭数
黒毛和種	47	(3)	(1)	43

注 死産及びへい死は分娩頭数の内数

ウ 繁殖成績

人工授精 (受胎頭数/受胎牛授精回数)	受精卵移植 (受胎頭数/全移植回数)
42.9% (48頭 / 112回)	26.7% (4頭 / 15回)

エ 牧乾草生産量(沼尻分場)

区分	収穫期間	面積 (a)	生産量(現物 kg)		乾物生産量(kg)	
			総 量	10a当り	総 量	10a当り
1 番草	6/7 ~ 6/24	2,710	215,750	796	90,802	335
2 番草	7/27 ~ 8/26	2,640	115,060	436	54,170	205
3 番草	9/2 ~ 9/15	2,140	26,100	122	18,993	89
合計	-	-	356,910	-	163,964	-

注 沼尻分場のある猪苗代町は、国の通知に基づく永年生牧草の流通・利用自粛地域であるため、除染を実施し、モニタリング検査で利用可能となった草地においてのみ収穫した。

なお、利用ができない草地については維持管理のみを実施した。